

## 奈良市ニホンジカ第二種特定鳥獣管理計画（第2次）

### 令和6（2024）年度の実施方針（案）

奈良市ニホンジカ第二種特定鳥獣管理計画（第2次）及び令和5（2023）年度実施計画の実施結果に基づき、令和6（2024）年度実施計画の方針（案）を検討した。

#### 1. 被害防除

農業被害アンケート結果に基づき検討した防鹿柵設置場所及び令和5年度までに設置した防鹿柵の効果検証結果を踏まえ、設置優先度の高い3地区（優先度の高い順に、鼓阪地区、東里地区、飛鳥地区）のうち、引き続き鼓阪地区において防鹿柵を設置する。

#### 2. 捕獲

令和5（2023）年度の実施結果の評価は今後実施予定であるが、令和6年1月31日時点で捕獲上限の180頭に達した。

令和4（2022）年度農業被害アンケート結果から、これまで捕獲を実施してきた地域においても依然として被害が低減しておらず、令和5（2023）年度の捕獲の効果検証調査（ヒアリング）においても被害意識が高い状態にあると考えられたため、加害個体あるいはその可能性が高い個体の捕獲を行う。効果的に被害低減を図るため、加害個体の出没リスクの高さを踏まえ地区ごとの捕獲数を設定する。

なお、これらの捕獲については、指定管理鳥獣捕獲等事業として実施する。

- ・ 捕獲期間  
許可日以降～令和7年3月（予定）
- ・ 捕獲手法  
被害地周辺にわなを設置  
箱わな、囲いわな、足くくりわな
- ・ 捕獲頭数（上限）  
下記の全9地区で225頭
- ・ 捕獲実施地区 ※令和5年度と同地区で実施  
9地区（田原地区、東里地区、柳生地区、大柳生地区、狭川地区、精華地区、東市地区、帯解地区、鼓阪地区※）の管理地区(D地区)内  
狩友会奈良支部：田原地区、精華地区、東市地区、帯解地区、鼓阪地区  
狩友会柳生支部：東里地区、狭川地区、大柳生地区、柳生地区

※鼓阪地区については、令和5年度は保護地区に生息するシカへの影響を最小限にするために、捕獲実施時期を繁殖期前（4～8月）に限定し、実施していたが、農業被害発生状況（資料4-4参照）を踏まえ、令和6年度は他地区と同様の捕獲期間とする。

### 3. モニタリング

モニタリングについては、令和3年度の第14回管理計画WGにおいて検討した令和4年度から令和8年度にかけての5年間のモニタリング計画（案）（表1）に基づき、実施項目を選定する。

#### （1）被害調査

##### 【農業被害アンケート調査】

シカによる農業被害実態の把握を目的としたアンケート調査を行う。

##### 【防鹿柵の効果検証調査】

令和5年度に設置した防鹿柵について、現地立ち会いのもと、防鹿柵設置箇所の耕作地所有者への対面形式によるヒアリング調査により実施する。

##### 【捕獲の効果検証調査】

捕獲実施地域において、被害状況の変化についてヒアリングを行う。調査結果から、捕獲による被害軽減効果を検証する。

#### （2）生息状況調査

##### 【CPUE（密度指標）】

2.の捕獲結果にもとづき、CPUEをモニタリングする。

CPUE（密度指標）：ニホンジカの捕獲数／捕獲努力量（わな基・日数）

#### （3）捕獲個体調査

捕獲時に、捕獲個体数、捕獲位置、性別、年齢等の捕獲個体の基本的な情報を得るとともに、対策による個体群の状態を把握するための捕獲個体の詳細情報を収集するとともに、下顎、筋肉片等のサンプルを収集する。

### 4. 緩衝地区（C地区）における農作物被害対策の検討

鹿苑のあり方等検討部会、鹿苑のあり方等検討ワーキンググループにおける検討結果を踏まえ、緩衝地区（C地区）における被害防除や捕獲のあり方について検討する。

表 1 モニタリング計画（案）

モニタリング項目		目的	概要	R4	R5	R6	R7	R8
(1) 被害	① 農業被害アンケート調査	対策による被害軽減効果の広域的な検証	旧奈良市域の農協会員を対象に、農業被害アンケート調査票を配布、回収し、被害状況等を把握する	●		●		
	② 防鹿柵の効果検証調査	防鹿柵設置箇所及びその周辺における被害軽減効果の検証	前年度防鹿柵設置箇所において、耕作者等への被害状況等のヒアリング及び現地調査を実施する。	●	●	●	●	●
	③ 捕獲の効果検証調査	捕獲実施地域における被害軽減効果の検証	捕獲実施集落の一部をモニタリング集落に選定し、耕作者等への被害状況等のヒアリング及び現地調査を実施する。	●	●	●	●	●
	④ 森林生態系影響調査	森林生態系への影響の評価	SDRにより下層植生の衰退程度を把握する。		●			
(2) 生息状況	① 生息密度調査	対策による生息状況への影響の評価	冬季に糞粒法調査を実施する。		●		●	
(3) 捕獲個体	① 基礎情報調査	捕獲個体の基礎情報の把握	捕獲個体数、捕獲位置、捕獲個体の性、外部計測値の記録	●	●	●	●	●
	② 詳細情報調査	対策による個体群の状態の評価	下顎、生殖器の収集と分析、遺伝子解析用サンプル(筋肉片)の収集	●	●	●	●	●
			遺伝子解析、歯牙年齢査定等				●	
(4) 捕獲作業の記録		捕獲の効果検証のための基礎情報の把握	捕獲に関する情報（わな設置地点、わな設置基数、わな稼働期間、捕獲数、捕獲位置、見回り記録等）の収集	●	●	●	●	●